

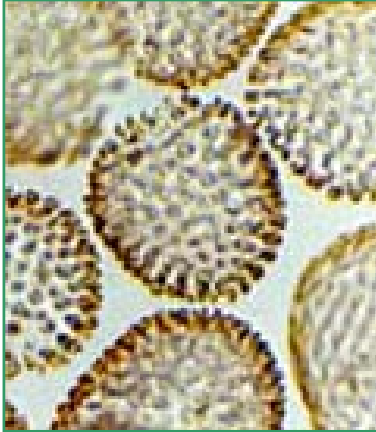
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第41報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年1月14日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続きウログレナ アメリカーナが優占種となったが、その総細胞数は減少傾向にある。本種は、前年度においても11月下旬頃から1月下旬頃まで増加し、優占種となった種類である。これに変わり今回は、キクロテラ グロメラータやアステリオネラ ホルモーサなどの珪藻が増加傾向にある。動物プランクトンは、ハネウデワムシが引き続き多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	240

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	100

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年1月14日

第41報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1400		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	820		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	90		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	180		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1460	50.9	43.8
(珪) 珪藻綱	1131	39.4	39.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	9.1	16.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	0.7	0.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2871	総体積	8.39E+05
種類数	12	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。